

銀行勘定調整表（両者区分調整法）

問題：次の資料にもとづいて、修正仕訳を行い、両者区分調整法による銀行勘定調整表を作成しなさい。

当社の当座預金勘定の残高は 85,600 円、銀行の残高証明書残高は 92,100 円であった。

不一致の原因を調査したところ、次のことが判明した。

- ①修繕費 500 円が当座預金口座から引き落とされていたが、当社に連絡未達のため未記入であった。
- ②仕入先 A 商店に対する買掛金の支払いとして振り出した小切手 5,000 円が、まだ取り付けられていなかった。
- ③消耗品費の支払いのために小切手 4,000 円を振り出していたが、先方に未渡しであった。
- ④得意先 B 商店からの売掛金の振込額 5,600 円を 6,500 円と誤って記入していた。
- ⑤得意先 C 商店より、売掛金の回収として現金 1,100 円を受け取り、ただちに当座預金口座に預け入れた
が、銀行では翌日入金として処理していた。

銀行勘定調整表（両者区分調整法）

〇〇銀行〇〇支店	×年×月×日		(単位：円)
当座預金勘定残高	85,600	残高証明書残高	92,100
(加算)		(加算)	
() ()		() ()	
(減算)		(減算)	
() ()		() ()	
() ()			
	()		()

解答

5つの原因を確認すると、①連絡未通知 ②未取付小切手 ③未渡小切手 ④誤記入 ⑤時間外預入です。

①③④に関しては不一致の原因が当社にあるので、修正仕訳が必要です。 ②⑤に関しては不一致の原因が銀行側にあるので、修正仕訳が不要です。

修正仕訳 会社側原因

①修繕費 500 / 当座預金 500

③当座預金 4,000/未払金 4,000

④売掛金 900/ 当座預金 900

銀行勘定調整表左側の会社側の残高を加減算して、金額を調整します。

③が加算 ①と④が減算していきます。

修正仕訳不要 銀行側原因

銀行勘定調整表右側の銀行側の残高を加減算して、金額を調整します。

②未取付小切手 銀行側の残高を5,000円減算

⑤時間外預入 銀行側の残高を1,100円加算

銀行勘定調整表 (両者区分調整法)

〇〇銀行〇〇支店	×年×月×日		(単位：円)
当座預金勘定残高	85,600	残高証明書残高	92,100
(加算)		(加算)	
(③未渡小切手)	(4,000)	(⑤時間外預入)	(1,100)
(減算)		(減算)	
(①連絡未通知)	(500)	(②未取付小切手)	(5,000)
(④誤記入)	(900)		
	<u>(88,200)</u>		<u>(88,200)</u>